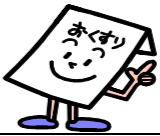





病名	外来	入院当日		手術翌日
		(術前)	(術後)	
検査処置	・手術前に心電図・VITゲン・呼吸機能・採血を行ないます(入院後に行う事もあります。)	・処置室で診察をします。 ・診察したあと膈内にガーゼと子宮の入り口を広げる処置をします。 (多少痛みがあります。痛みがひどい時にはお知らせ下さい。)	・吐気・痛みがある場合があります。時間が経過すれば直ってきます。症状が強い時にはお知らせください。 ・必要に応じ酸素を投与する事があります。 ・必要に応じ膈内にガーゼが挿入してある事があります。 ・得られた子宮内容物を病理検査(顕微鏡の検査)に提出します。	・9時頃退院前の診察があります。 ・10時頃退院可能となります。
点滴内服薬		・手術前に点滴を行います。(ピカーボン500ml)手術時間により2本以上行う事があります。 ・麻酔科より指示がある時は前投薬(注射・内服など)がある事があります。	・手術後点滴があります。(ソリタT3 500ml)必要に応じ2本以上行う事があります。 ・抗生剤の点滴(ホスミシンS 2gバッグ+パルタン1A)が終了しましたら針を抜きます。 ・下腹痛・嘔気に対し必要な治療を行う事があります。(点滴・内服・座薬など)	・朝食後から抗生剤(トロン)と子宮収縮剤(パルタン)の内服を5日間してください。子宮収縮剤を内服する事により、多少生理痛の様な痛みが出ることがあります。 
行動範囲		・特に制限はありません。 ・手術前に排尿をすませて下さい。	・手術後2時間はベッド上の安静を保ってください。 ・2時間経ち、意識がはっきりしましたら歩行できますが、最初に歩行する際は看護師が付き添いますので、ナースコールでお知らせ下さい。	・制限はありません。
食事		・手術が終了するまでは食事や飲み物は摂らないで下さい。	・手術後意識がはっきりした後は通常の食事を摂れます。 ・指示があるまで飲水はしないようにして下さい。	
説明	・外来担当医師から現在の状態・治療法について説明があります。 ・看護師から入院の準備の説明があります。 ・感染症検査の同意書を作成していただきます。	・病棟主治医から入院・手術・治療について説明があります。(御家族の方に手術終了後まで待機していただきます) ・看護師が病棟の案内と入院・手術前の準備など説明いたします。 ・売店にてライトセットを購入して下さい。 ・手術同意書・麻酔同意書・検体利用の同意書を作成していただきます。 	・病棟主治医より御家族に手術に関する説明があります 	・退院診察後、病棟主治医より今回手術・退院後の注意点などの説明があります。その際に次回外来受診日の再診予約票をお受け取り下さい。 ・出血が多い時・下腹部痛が強い時・熱が38度以上続く時・おりものが多く臭いがひどい時はいつでも受診して下さい。 ・手術後2~3日は自宅で安静にし外出はできるだけ避けて下さい。十分な睡眠をとり規則正しい生活を心がけましょう。 ・次回外来受診日まで性交渉はお控え下さい。 ・次回妊娠については外来受診時の状態により医師より説明があります。 ・次回生理は1ヵ月後に見られます。個人差があり月経周期が延長する事もありますので心配しないで下さい。・職場復帰の時期は医師の指示に従って下さい 
清潔		・手術前後の入浴はできません		・次回外来受診日までシャワー浴のみ可能ですが、入浴は控えて下さい。 ・手術後数日~10日位は出血があります。通常の生理の量を超える出血が持続する場合はご連絡下さい。

お断り：このスケジュール通りに進まない場合があります。その時は医師や看護師から説明があります

2012年5月改正